**Smart Beetle**

スマート　ビートル

ユーザーズマニュアル

日本語版

ソフトウェアVer1.0

（2016年4月）

開発元：

HIMS International Corporation

発売元：

有限会社エクストラ

http://www.extra.co.jp/

E-mail：support@extra.co.jp

# 

# 安全上のご注意

ご自身の安全とスマートビートルを思わぬ故障や損傷から守るため、こちらの注意をお読みいただき正しくお使いください。

1. ACアダプターの電源は100V-240V、出力はDC 5V / 2Aです。
2. スマートビートル充電時には、純正のACアダプターのみをお使いください。また、電源コードを曲げたり引っ張ったりしないでください。漏電や故障の原因となります。
3. スマートビートルを初めてバッテリーで使用する場合、バッテリー残量が正しく表示されない場合があります。バッテリー残量を正しく表示するために、スマートビートルの電源を入れ、4.5時間以上ACアダプターを使用して充電するか、10.5時間以上USBケーブルで充電してください。
4. スマートビートルは非常に繊細な機器です。スマートビートルは丁寧に扱ってください。また、埃の多い環境でのスマートビートルの使用は避け、カバーをかけるか、ケースにしまうなどして、埃が付かないように注意してください。

点字セルは、特に、繊細で複雑な部品です。もし点字セルが、埃や他の原因で正常に機能しなくなった場合は、有限会社エクストラ、または、スマートビートルをご購入いただいた販売店までお問い合わせください。

1. スマートビートルを長時間密閉された高温の場所（真夏の車内など）に放置すると、バッテリーが故障・発火する可能性があります。絶対にこのような環境に置かないようご注意ください。
2. スマートビートルをご自身で分解したり、第三者に分解を依頼したりしないでください。本体に重大な損傷を与える可能性があります。無断で分解した場合、保証を取り消し、本体は無償点検の対象外となります。液体や外的な力によって本体が損傷した場合も、それが保証期間内であっても、同様に無償点検の対象外となります。

# お知らせ

このユーザーズマニュアルと製品には印刷上の誤りあるいは技術的な誤りがある可能性があります。また、性能の改善などのために予告なしで変更される可能性があります。

このユーザーズマニュアルと製品は著作権法によって保護されています。

記載の製品名、ソフトウェア名は、一般にその会社の登録商標または、商標です。

目次

[１.スマートビートルとは 1](#_Toc449433918)

[1.1 内容物 2](#_Toc449433919)

[1.2 スマートビートルの外観 3](#_Toc449433920)

[1.2.1 上面 3](#_Toc449433921)

[1.2.2 右側面 4](#_Toc449433922)

[1.2.3 背面 6](#_Toc449433923)

[1.2.4 底面 6](#_Toc449433924)

[2 本体の基本機能 7](#_Toc449433925)

[2.1 電源オンとオフ 7](#_Toc449433926)

[2.2 バッテリーおよび充電状態の確認 7](#_Toc449433927)

[2.3 スマートビートルのリセット 7](#_Toc449433928)

[2.4. LED表示 8](#_Toc449433929)

[2.5. ヘルプ機能 8](#_Toc449433930)

[3. メニュー 10](#_Toc449433931)

[3.1 接続モードの切り替え 11](#_Toc449433932)

[3.1.1　Bluetoothシリアルポート 11](#_Toc449433933)

[3.1.2 USBポート 12](#_Toc449433934)

[3.1.3　Bluetoothキーボード 13](#_Toc449433935)

[3.1.4　ペアリングリスト 13](#_Toc449433936)

[3.1.5　ペアリングモード 14](#_Toc449433937)

[3.2 設定オプション 15](#_Toc449433938)

[3.3　情報 16](#_Toc449433939)

[4．iOSの接続設定と操作 18](#_Toc449433940)

[4.1　点字ディスプレイとしてのBluetooth接続 18](#_Toc449433941)

[4.2点字キーボードとしてのBluetooth接続 20](#_Toc449433942)

[4.3再起動時の接続 21](#_Toc449433943)

[4.4iOSでの操作 22](#_Toc449433944)

[4.4.1　BRLモードとKBDモード 22](#_Toc449433945)

[4.4.2　コンボモード 22](#_Toc449433946)

[4.4.3　BRLモードの操作 22](#_Toc449433947)

[4.4.4　KBDモードの日本語入力 23](#_Toc449433948)

[5.片手モード 25](#_Toc449433949)

[6.キーボードコマンド 27](#_Toc449433950)

[7.スマートビートルのホットキーコマンド 29](#_Toc449433951)

[8　記号入力一覧表 30](#_Toc449433952)

# １.スマートビートルとは

スマートビートルはコンピュータや情報端末に接続し、点字出力および点字キーボード入力を行う事のできる点字キーボード・ディスプレイです。

iPhoneおよびiPadに接続して操作することが可能です。iOSのバージョンは必ず最新にしてお使いください。旧バージョンでは正常に機能しない場合があります。

また、スクリーンリーダーJAWS for WindowsのインストールされたPCと接続した場合、点字ディスプレイとして使用することが可能です。なお現状全角半角キーなど一部の日本語キーボードのキーをサポートしていないため、日本語点字キーボードとしては完全な使用ができません。

ユーザーズマニュアルの使い方

スマートビートルをお使いになる前に、全ての機能を理解するためにこのユーザーズマニュアルをお読みください。スマートビートル全ての機能を十分ご活用いただくために、この説明書を最後までお読みになることをお薦めいたします。

スマートビートルの各機能には組み合わせキーが用意されています。組み合わせキーを覚えることで、様々な機能を便利に素早く使うことができます。

この説明書ではこのようなキーを説明するために特別な表記方法を用います。例えば、スペースキーと｢1の点｣と｢2の点｣のボタンを同時に押す場合、Space-b(1-2)と表記します。これはこの説明書全体で使う重要な表記法です。

## 内容物

スマートビートルをご使用の前に、必ず箱の中に以下の内容物があることをご確認ください。不備がございましたら、ご購入いただいた販売店または有限会社エクストラまでご連絡ください。

1. スマートビートル本体
2. ACアダプター
3. マイクロUSBケーブル
4. マニュアル（文書データ）/ドライバーCD
5. 基本操作ガイド（墨字）
6. 基本操作ガイド（点字）
7. 外観とキー説明（墨字）
8. 外観とキー説明（点字）
9. ユーザーズマニュアル（墨字）
10. キャリングケース
11. ポーチ
12. ユーザ登録カード（墨字）
13. ユーザ登録カード（点字）
14. 保証書

## 1.2 スマートビートルの外観

机の上に、スマートビートルを置いてください。その際、点字ディスプレイが手前になるように置いてください。スマートビートルの形状は、小さくて薄い、長方形の箱に似ています。ここでは、スマートビートルの外観や、各ボタンやポートの基本的な機能について説明します。

### 1.2.1 上面

点字入力キーボードは、パーキンススタイルです。

スマートビートルの上面には、1の点から6の点の6つのキーと、スペースキー、バックスペースキー、エンターキーの、合わせて9つのキーがあります。

点字入力時は、左側の4つのボタンに左手の人差し指、中指、薬指、小指を置いて、右側の4つのボタンに右手の人差し指、中指、薬指、小指を置いてください。そして、どちらかの親指を、真ん中の細長いキーに置いてください。このとき、左手の人差し指の下にあるキーが1の点、中指は2の点、薬指は3の点、小指はバックスペースキーとなります。また、右手の人差し指の下にあるキーが4の点、中指は5の点、薬指は6の点、小指はエンターキーとなります。

親指の下の細長いボタンは、スペースキーです。

スペースキーの左横に2つ、右横に2つある小さな細長いキーは、ファンクションキーです。

いちばん左のキーはF1キー、その右にあるキーはF2キー、スペースキーの右横にあるキーはF3キー、いちばん右のキーはF4キーです。F1キーはコントロールキー、F2キーはWindowsキー、F3キーはAltキー、F4キーはHomeキーにそれぞれ対応します。

キーボードの下には、14マスの点字ディスプレイがあります。点字ディスプレイのすぐ上には、それぞれのマスに対応する小さなボタンがあります。これらは、タッチカーソルキーです。タッチカーソルキーは、文書編集中には、編集したい点字セルにカーソルを移動させるときに使います。スクリーンリーダーへの接続時には、画面に表示されているアイコンを選択するときに使います。

点字ディスプレイの両側に、カプセル型のキーがあります。これらは、左スクロールボタンと右スクロールボタンです。

本体の上部中央付近（1の点と4の点の上）に、充電とBluetoothの接続状態を示す2つのLEDランプがあります。



### 1.2.2 右側面

右側面には、電源ボタンがあります。この電源ボタンを長押しすると、電源オン／オフの切り替えができます。電源オンの状態で、電源ボタンを軽く1回押すと、スマートビートルのメニューが開きます。



### 1.2.3 背面

背面には、リセットボタンと、マイクロUSBポートがあります。左側にある、小さな点のようなボタンが、リセットボタンです。スマートビートルが、フリーズや予期しない動きをしたときは、このリセットボタンを押してください。

背面右側には、小さな長方形のマイクロUSBポートがあります。ACアダプターを接続して充電するときや、コンピュータに接続するときに使用します。



### 1.2.4 底面

底面の隅の4か所には、滑り止めのゴム足が付いています。また、底面左側には、システムの音声を出力する小さな丸いスピーカーがあります。

# 2 本体の基本機能

この章では、電源オンとオフ、バッテリーおよび充電状態の確認や、リセット、LED表示の確認など、スマートビートルの基本的な機能を紹介します。

## 2.1 電源オンとオフ

スマートビートルの電源を入れる際は、1秒以上、電源ボタンを押してください。電源が入ると、起動音が鳴り、点字ディスプレイに「電源オン」と表示されます。電源をオフにする際は、電源ボタンを3秒間、長押しします。電源オフを示す音が鳴り、「電源オフ」と点字ディスプレイに表示されます。

## 2.2 バッテリーおよび充電状態の確認

スマートビートルは、内蔵バッテリーがフル充電された状態から、約20時間動作します。スマートビートルを充電するには、付属のACアダプターを使います。先が小さくて平らな方を本体背面のマイクロUSBポートにつなぎ、もう片方をコンセントに接続してください。フル充電には約4時間かかります。

充電状態を確認するには、Backspace-Enter-p（1-2-3-4）を押してください。すると、現在の充電レベルと充電状態が表示されます。また、メニューの中の「情報」からも充電状態を確認することができます。

## 2.3 スマートビートルのリセット

スマートビートルが予期しない動作をしたり、正常にキーコマンドに反応しなかったりした場合、本体をリセットする必要があります。リセットするには、本体背面の左側にある、小さな点のようなボタンを１度押してください。ボタンを押すとリセット音が鳴り、本体が再起動します。そして、点字ディスプレイに「ペアリングBRL」と表示されます。また、これまでに行った設定は維持されます。

注意：リセット機能は、スマートビートルの電源が入っている状態でのみ機能します。

## 2.4. LED表示

本体の上部中央付近、1の点と4の点の上に、2つのLEDランプがあります。これらは、充電状態とBluetoothの接続状態を示します。

1）充電LED：

スマートビートルの電源が入った状態で充電すると、充電LEDは赤に光ります。充電が完了すると、緑色に光ります。電源が入っていない状態で充電すると、充電LEDは赤に光り、充電が完了すると何も点灯しません。

2）BluetoothのLEDは、Bluetoothデバイスが接続されている場合、青く光り、それ以外では点灯しません。

## 2.5. ヘルプ機能

ヘルプ機能を使うと、スマートビートルの主な機能を操作するためのコマンドリストを確認することができます。

Space-h(1-2-5)を押すとヘルプが開きます。

ヘルプが開いた状態でSpace-1またはSpace-4を押すと、ヘルプのコマンドリストを頭出し移動して各コマンドのキー操作を確認することができます。コマンドの文章を最後まで読むためには右スクロールボタンを使って点字の表記を最後までディスプレイに表示させてください。

Space-e(1-5)を押すと、ヘルプが終了し、ヘルプを開く前の状態に戻ります。

ヘルプリストのキー操作

ヘルプ実行：Space-h

リスト項目移動（頭出し）：Space-1またはSpace-4

リスト項目移動（全文表示）：左スクロールボタンまたは右スクロールボタン

リストの先頭へ移動：Space-1-2-3

リストの末尾へ移動：Space-4-5-6

ヘルプの終了：Space-e

# 3. メニュー

　スマートビートルのメニューには、接続方法の選択やペアリングモードの設定、その他のオプションの項目があります。

　電源ボタンを素早く１回押すとメニューが開きます。メニューの項目リストでSpace-1またはSpace-4を使用するとメニュー項目を頭出しで前後にリストを移動することができます。Space-1-2-3を押すとメニュー項目の先頭に移動します。Space-4-5-6を押すとメニュー項目の末尾に移動します。

　メニュー項目の文章が点字ディスプレイに全て表示しきれない場合は、右スクロールボタンを押すと続きの点字が表示されます。左スクロールボタンを押すと戻ります。

設定したい項目に移動しエンターキーを押すと、表示した項目を実行することができます。

　また、それぞれのメニュー項目名の後に表示されているショートカットを使用して機能を実行することもできます。ショートカットを使用すれば簡単に項目を実行することができます。メニューを終了するにはSpace-e(1-5)を押してください。終了すると、スマートビートルのメニュー実行前の状態に戻ります。

メニューには、以下の項目があります：

1) Bluetoothシリアルポート(b)：

コンピュータ、スマートフォン、タブレット端末などにBluetoothシリアル接続を使って点字ディスプレイとして接続します。

2) USBポート(u)：

PCにUSB接続を使って点字ディスプレイとして接続します。

3) Bluetoothキーボード(k)：

コンピュータ、スマートフォン、タブレットなどにスマートビートルを標準Bluetoothキーボードとして接続します。

4) ペアリングリスト(l)：

スマートビートルに設定したBluetoothデバイスのリストを表示します。

5) ペアリングモード(s)：

Bluetooth接続のペアリングを行います。シリアルポート（BRL）とキーボード（KBD）のペアリングを行います。

6) オプション(o)：

スマートビートルのオプション設定を行います。

7) 情報(i)：

Bluetooth接続認識用デバイス名、ファームウェアのバージョン、充電レベル等を表示します。

## 3.1 接続モードの切り替え

スマートビートルはコンピュータや端末に対し点字ディスプレイ接続とキーボード接続を行い、それらの接続を切り替えながら使用することができます。メニューの「Bluetoothシリアルポート」、「USBポート」は点字ディスプレイとしての接続。「Bluetoothキーボード」はキーボードとしての接続を行う機能です。キーボード接続はBluetooth接続のみです。

ペアリングの済んだ端末に対して、再接続する際に接続モードを指定します。

### 3.1.1　Bluetoothシリアルポート

Bluetoothシリアル方式で接続する設定を行った機器と接続する際に実行します。

ペアリング済みの機器とビートルを両方起動し、ビートルの電源ボタン-右スクロールボタンを押してBluetooth接続モードにしてください。スマートビートルは点字ディスプレイとして動作します。

注）ただし、iOS端末と接続する場合は、iOS端末を起動する前にビートルを起動してBluetooth接続モードにした状態でiOSを起動してください。

メニューからBluetoothシリアル接続モードに切り替えるためには以下の手順を行います。

1) 短く電源ボタンを押してメニューを開きます。

2) 「Bluetoothシリアルポート」が先頭に表示されます。エンターを押してください。またはショートカットキーb(1-2)を押してください。

過去に接続した情報があれば、スマートビートルは自動で接続します。

利用可能なデバイスが見つからない場合は、「BRLでペアリング」と表示します。

### 3.1.2 USBポート

USB接続の点字ディスプレイとしてスマートビートルを使用するにはこの接続を使用します。スマートビートルがUSBケーブルを使用してコンピュータに接続されていることを確認してから実行してください。

「USBポート」に切り替えるためには、電源ボタン-F2を押してください。

メニューからUSB接続モードに切り替える際は以下の手順で操作してください。

1) 短く電源ボタンを押してメニューを開きます。「Bluetoothシリアルポート」と表示します。

2) Space-1かSpace-4を使用して「USBモード」へ移動してエンターを押すか、ショートカットキーu(1-3-6)を押して実行してください。

「USB接続ポート・メッセージへの切り替え」と表示されます。

USBケーブルが接続されていない場合は、再度メッセージが表示されますので、USBケーブルを接続後に再度実行してください。

### 3.1.3　Bluetoothキーボード

Bluetoothキーボード接続を使用すると、スマートビートルをキーボードとして使用することができます。点字キーの組み合わせを使用してフルキーボードと同様の操作を行うための機能です。ただし、現状では、日本語点字キーボードとして使用できるのはiOS端末のみです。Windows PCの日本語キーボードとしては使用できません。

メニューからBluetoothキーボードモードに切り替えるためには以下の手順で操作してください。

1) 短く電源ボタンを押してメニューを開きます。「Bluetoothシリアルポート」と表示します。

2) ショートカットキーk(1-3)を押して実行します。またはSpace-1かSpace-4を使用して「Bluetoothキーボードモード」へ移動し、エンターを押して実行してください。

過去に接続した情報があれば、スマートビートルは自動で接続します。

利用可能なデバイスが見つからない場合、自動的に「KBDでペアリング」と表示します。

### 3.1.4　ペアリングリスト

ペアリングリストでは、ペアリング情報が設定済みのBRLおよびKBDのデバイスについて、デバイス名と接続状態がそれぞれ表示されます。

ペアリングリストには、それぞれ最大5個のBRLデバイスとKBDデバイスを保存することができます。

既に5個のデバイスがペアリングリストに存在する場合、新しいデバイスを接続するとリストの一番下にある接続が自動的に削除され、新しいデバイスが保存されます。

電源ボタン-F4を押すと「ペアリングリスト」に切り替わります。

メニューからペアリングリストに切り替えるためには以下の手順で操作してください。

1) 短く電源ボタンを押してメニューを開きます。「Bluetoothシリアルポート」と表示します。

2) ショートカットキーｌ(1-2-3)を押して実行します。またはSpace-1かSpace-4を使用して「ペアリングリスト」へ移動し、エンターを押して実行してください。

3) ペアリングリストでは、デバイス名の前に接続状況を表示します。actと表示されるデバイスは接続中のデバイス。prdと表示されるデバイスは接続していないデバイスです。

4) 接続したいデバイスがprd状態の場合、デバイス名を表示した状態でエンターキーを押してください。正しくペアリングの設定ができていればactに切り替わります。

5) Space-e(1-5)を押すと「ペアリングリスト」を終了して元の状態に戻ります。

### 3.1.5　ペアリングモード

「ペアリングモード」は新しくBluetoothデバイスを設定するために使用します。

電源ボタン-F1を押すと「ペアリングモード」を実行します。

ペアリングモードを実行すると「選択-KBD」と表示します。スペースキーを押すと「選択-BRL」に切り替わります。

　これから接続したい機器と点字ディスプレイとして接続するならばBRL、キーボードとして接続するならばKBDを選択してください。エンターキーを押すと選択したモードでBluetoothのペアリング状態になります。この状態になると、接続したい端末やコンピュータ側からペアリングを行う事ができます。

iOSでの接続に関しては4章で具体的に紹介します。

Space-e(1-5)を押すと「ペアリングモード」を終了して元の状態に戻ります。

メニューからペアリングモードを実行する場合、以下の手順で操作してください。

1) 短く電源ボタンを押してメニューを開きます。「Bluetoothシリアルポート」と表示します。

2) ショートカットキーs(2-3-4)を押して実行します。またはSpace-1かSpace-4を使用して「ペアリングモード」へ移動し、エンターを押して実行してください。

## 3.2 設定オプション

メニューの「オプション」では、メッセージや通知のほかに、スマートビートルの表示言語を設定することができます。

「オプション」を使用するには、短く電源ボタンを押してメニューを開きます。Space-1かSpace-4を使用して「 オプション」へ移動しエンターキーを押してください。またはショートカットo（1-3-5）をメニュー上で押します。

「オプション」の各項目を移動するには、Space-1かSpace-4を使用します。設定変更にはスペースキーを使用します。設定内容の保存にはエンターキーを押します。変更をキャンセルするにはSpace-e(1-5)を押すと、元の状態に戻ります。

「オプション」には以下の項目があります：

1)言語：

スマートビートルのキーボード入力時、プロンプトメッセージおよびメニューで使用する言語を設定します。

以下１７種類の言語より選択可能です：

「韓国語」、「日本語」、「英語」、「 英語（イギリス）」、「ポーランド語」、「デンマーク語」、「トルコ語」、「ヘブライ語」、「スウェーデン語」、「アラビア語」、「ノルウェー語」、「オランダ」、「ロシア語」、「スペイン語」、「フランス語」、「ドイツ語」、「イタリア語」

2)片手モード：

両手の全ての指を使って操作ができない場合、片手モードを使って操作することが可能です。片手モードの詳細については5章を参照してください。スペースキーで本オプションのオン/オフを切り替える事ができます。

3)バッテリー：

バッテリー残量が残り10%に達した後、2分ごとに残量を通知するかどうかを設定します。スペースキーでオンとオフを切り替える事ができます。

4)サウンド：

起動音や終了音、その他エラー音等の通知を行うかどうか設定します。

スペースキーでオンとオフを切り替えることができます。

5)クリア：

クリアをオンにした状態で、オプション設定をエンターキーで保存すると、これまでに設定されたペアリング情報やオプションをクリアするかどうかの確認メッセージが表示されます。ここで「はい」を選択すると、全ての設定は工場出荷時のデフォルト値に戻り、Bluetoothのペアリング情報は全て消去されます。

本オプションの初期設定はオフです。

## 3.3　情報

メニューの「情報」を使用すると、Bluetoothデバイス名とステータス情報を確認することができます。

「情報」を使用するには、短く電源ボタンを押してメニューを開きます。Space-1かSpace-4を使用して「情報」へ移動しエンターキーを押してください。またはショートカットi（2-4）をメニュー上で押します。

「情報」の各項目を移動するには、Space-1かSpace-4を使用します。情報の表示を終了するにはSpace-e(1-5)を押すと、元の状態に戻ります。

情報には以下の項目があります：

1)Bluetoothシリアルポート：

スマートビートルがBluetoothシリアルとして接続する際のデバイス名が表示されます。

2)Bluetoothキーボード：

スマートビートルがBluetoothキーボードとして接続する際のデバイス名が表示されます。

3)ファームウェアのバージョン：

スマートビートルのファームウェアのバージョンを表示します。

4)バッテリーの状態：

現在のバッテリー・レベルと充電レベルを表示します。

# 4．iOSの接続設定と操作

iPadやiPhoneと接続する際の初期設定の手順を説明します。この設定は一度行えば、設定を消去しない限り再設定は不要です。

スマートビートルはiPhoneと「点字ディスプレイ接続（BRL）」、「キーボード接続（KBD）」を2つのBluetooth接続を使って同時に行います。

iPhoneを操作して画面に表示された情報を点字で読む場合はBRLモード、文章を作成するなどの入力を行う場合はKBDモードとそれぞれ切り替えながら使用します。

また、スマートビートルはBRLとKBDの接続をそれぞれ5件まで登録できます。これは複数台のiOS端末と接続して使用するための機能です。例えば、iPhoneとiPadを所有している場合2台共設定を行う事で、接続を切り替えてそれぞれの端末を使用することができます。

6件目以降を登録すると古い登録から消去しますのでご注意ください。

なおこの説明では端末をiPhoneとしています。iOSのバージョンは9.3.1です。

## 4.1　点字ディスプレイとしてのBluetooth接続

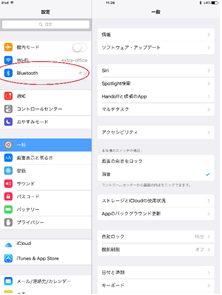
1) スマートビートルの電源をオンにしてください。起動音が鳴り、点字ディスプレイに「電源オン」と表示されスマートビートルが起動します。

2) 電源-F1を押してください。スマートビートルはペアリングモードを開始します。

3) 「選択-KBD」と点字が表示されたらスペースキーを一度押してください。「選択-BRL」に点字が切り替わるのでエンターを押してください。「ペアリングBRL」と点字が表示されます。

4) 次にiPhoneを起動してください。

5) iPhoneの「設定」から「Bluetooth」をオンに設定してください。



6) 次に「設定」の「一般」、「アクセシビリティ」、「VoiceOver」と進んでください。



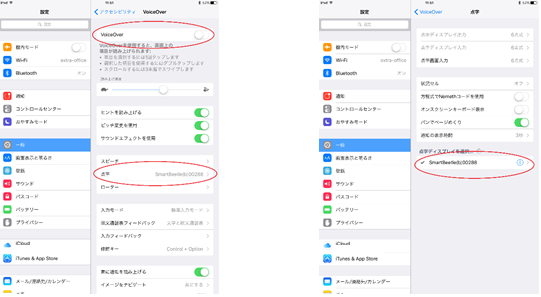
7) 「VoiceOver」をオンにして、「VoiceOver」のメニューから「点字」をタッチしてください。

8) Smart Beetle(b)\*\*\*\*（シリアル番号）がiPhoneに表示されます。

9) Smart Beetle(b)\*\*\*\*（シリアル番号）をタップして接続を実行してください。

10) デバイス名の左側にチェックマークが入れば接続成功です。

※デバイス名の(b)はBRL（点字ディスプレイ）を表します。



点字ディスプレイとして接続に成功すればVoiceOverが読み上げる内容が点字で表示されるようになります。

## 4.2点字キーボードとしてのBluetooth接続

1) 点字ディスプレイの接続設定ができた状態で、スマートビートルで電源-F1を押してペアリングモードを実行してください。

2) 「選択-KBD」と点字が表示されたらエンターを押してください。「ペアリングKBD」と点字が表示されます。

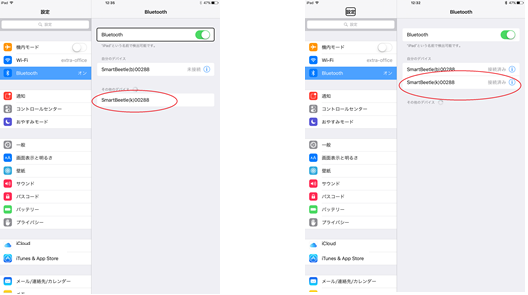
3) 次にiPhone側で「設定」の「Bluetooth」を実行してください。

4) その他デバイスの項目に「Smart Beetle(k)\*\*\*\*（シリアル番号）が表示されます。

5) Smart Beetle(k)\*\*\*\*（シリアル番号）をタップして接続を実行してください。

6) デバイス名の左側にチェックマークが入れば接続成功です。

※デバイス名の(k)はKBD（キーボード）を表します。



## 4.3再起動時の接続

スマートビートルとiOS端末の接続後に、改めて使用する場合、接続を再度確認する必要があります。スマートビートルは複数のiOS端末やWindows端末と接続して使用することを想定していますので、再起動時には接続したい機器をペアリングリストから指定します。これまでに説明したBluetooth接続を再度行う必要はありません。

以下の手順で接続確認を行います。

1) まずスマートビートルを起動してください。

2) 次に電源と右スクロールキーを押してBRLモードにしてください。

点字で「ペアリング　BRL」と表示されます。

3) iPhoneを起動してください。

4) iPhoneを起動してログインすると、自動的にBRLモードで接続し、接続音が鳴ります。

5) スマートビートルの電源ボタンを短く一度押してメニューを開いてください。

6) スマートビートルのメニューから「ペアリングリスト(l)」を実行してください。

7) 点字で「BRLリスト」と表示されます。

8) 右スクロールを押すと、BRL接続でペアリング設定済みの端末情報が点字で表示されます。現在接続している端末名の行頭にact、未接続の端末名の行頭にprdと表記されます。BRL接続リストを表示後、「KBDリスト」になります。

9) KBDリストからKBD接続を実行したい端末名を選択しエンターを押してください。接続音が鳴り、KBD接続が完了します。

## 4.4iOSでの操作

### 4.4.1　BRLモードとKBDモード

設定が完了すると、スマートビートルは点字ディスプレイとしての機能とBluetoothキーボードとしての機能を両方使用できる状態になります。

点字ディスプレイの状態をBRLモード、キーボードの状態をKBDモードとよびます。

### 4.4.2　コンボモード

BRLモードとKBDモードが両方使用できる状態をコンボモードとよびます。

コンボモード中は電源ボタンとF3ボタンを同時に押すことでBRLモードとKBDモードを切り替えることができます。

点字ディスプレイとして情報を確認する時はBRLモード、キーボードとして文字を入力するときやキーボードコマンドを用いた操作を行いたい場合はKBDモードで操作します。

### 4.4.3　BRLモードの操作

BRLモードは他の点字ディスプレイを接続した場合と同じ状態です。VoiceOverの点字ディスプレイとして点字表示を行います。

基本的な操作は以下の通りです。

・上矢印：Space-1

・下矢印：Space-4

・左矢印：Space-3

・右矢印：Space-6

・ローターオプションを左回りで設定：Space-2-3

・ローターオプションを右回りで設定：Space-5-6

※ローターオプションで設定した移動単位は左右矢印の操作に反映されます。

・点字表示されている項目のタップ：タッチカーソルキー

日本語点字表示の補正：Backspace-Enter-Space

※VoiceOverの点字出力は現在のところ日本語点字に完全対応しておらず（2016年4月現在）、点字が読みにくい場合があります。「日本語点字表示の補正」を実行することで一部のマス空けや長音表記への補正を行い、点字を読みやすくします

BRLモードでは文字入力が行えません。入力を行う場面では電源-F3を押してKBDモードに切り替えてください。

### 4.4.4　KBDモードの日本語入力

iOSで日本語入力を行う場合、iOS側の入力モードとスマートビートル側の入力モードをそれぞれ設定して正しい組み合わせにする必要があります。

iOSに接続した状態でKBDモードに切り替えてF1-Space を押すと、iOS側のキーボードレイアウトの変更「入力モード変更」を行います。F1-Spaceを押すたびに「日本語ローマ字」と「US-English」などの設定を切り替えることができます。

注)接続している端末の種類やバージョンによって設定内容が異なる場合があります。

また、スマートビートルの日本語入力モードはBackspace-Enterを押すことで「ローマ字」と「かな」を切り替えることができます。

日本語入力をする場合

iOS側の設定を「日本語ローマ字」または「日本語かな」に設定し、スマートビートル側の設定を「かな」に設定してください。

アルファベットを入力する場合

iOS側の設定を「US-English」または「記号」に設定し、スマートビートル側の設定を「ローマ字」に設定してください。なおビートルは、2級英語での入力には対応していません。

上記以外の組み合わせに設定してしまうと正常な文字入力ができません。ご注意ください。

# 5.片手モード

両手の指を使って操作ができない場合、片手モードに設定することでマートビートルの操作を行う事ができます。

電源ボタンを短く押してメニューを開き、BackSpace-1-2-3を押すと片手モードに切り替わります。

同じ操作をもう一度すると通常の入力モードに戻ります。

片手モードの切り替えはメニューのオプションからも実行できます。

片手モード時の入力方法

1. 文字を入力する際、通常は複数の点字キーを同時に押して入力しますが、片手モードでは押したいキーを連続して入力し最後にスペースキーを押すことで入力を確定します。

例えば「h」と入力したい場合、1の点と2の点と5の点を押してから最後にスペースキーを押すと入力が確定します。

1. スペースを含むキー操作を入力する場合、最初と最後にスペースを入力します。

例えば「Space-o（1-3-5）」と入力したい場合、最初にスペースを押してから1の点と3の点と5の点を押して、最後のもう一度スペースを入力します。

1. エンターやバックスペースを含むキー操作を入力する場合は最初にエンターやバックスペースを入力し、最後にスペースを入力します。

例えば「Enter-ｌ（1-2-3）」と入力したい場合、最初にエンターを入力してから1の点と2の点と3の点を押して、最後にスペースを入力します。

1. スペースやエンター、バックスペースそのものの機能を使いたい場合は2連続でキーを押してください。

例えば文書の途中でスペースを空けたい場合はスペースキーを2回押します。

1. 電源ボタン、ファンクションキーは通常と同じ使い方です。

# 6.キーボードコマンド

iOSのキーボードコマンド

Homeボタン: F 4

再生/一時停止: タッチカーソルキー10番

プレーヤー使用時にデータの最初に戻る：タッチカーソルキー11番

ミュートのオンとオフの切り替え：タッチカーソルキー12番

音量を下げる：タッチカーソルキー13番

音量を上げる：タッチカーソルキー14番

上矢印-左矢印（ローターオプションを左回りで設定）: Space-3-4

※BRLモードではSpace-2-3

上矢印-右矢印（ローターオプションを右回りで設定）: Space-1-6

※BRLモードではSpace-5-6

Alt-Del (項目削除): F2-Space-1-4-5

CMD-Space (文字入力切り替え): F1-Space

Alt-左矢印 (前のページへ移動): F3-Space-3

CMD-上矢印 (フィールド上の前のページへ移動): F2-Space-1

Alt-右矢印 (次のページへ移動): F3-Space-6

CMD-下矢印 (フィールド上の次のページへ移動): F2-Space-4

CTRL-上矢印 (先頭の項目へ移動）: F1-Space-1

CMD-左矢印 (文書の先頭へ移動): F2-Space-3

CTRL-下矢印 (最後の項目へ移動): F1-Space-4

CMD-右矢印 (文書の最終ページへ移動): F2-Space-6

Alt-下矢印 (次の列にスクロール): F3-Space-1

CMD-Shift-上矢印: F2-左スクロール-Space-1

Alt-上矢印 (前の列にスクロール): F3-Space-1

CMD-Shift-下矢印: F2-左スクロール-Space-4

上矢印-下矢印 (Tab2回押し): Space-1-4

CMD-Shift-左矢印: F2-左スクロール-Space-3

左矢印-右矢印 (クイックサーチのオンオフ切り替え): Space-3-6

CMD-Shift-右矢印: F2-左スクロール-Space-6

# 7.スマートビートルのホットキーコマンド

以下のホットキーを使うことで入力モードの切り替えや接続変更などの操作を素早く行う事ができます。

メニュー表示：電源ボタンを短く押す

電源を切る：電源ボタンを長押しする

ペアリングモード：電源ボタン-F1

USB接続モード：電源ボタン-F2.

Bluetooth BRL接続へ切り替え：電源ボタン-右スクロール

Bluetooth KBD接続へ切り替え：電源ボタン-左スクロール

Bluetooth ペアリングリストを開く：電源ボタン-F4

バッテリー充電情報：Backspace-Enter-p（1-2-3-4）.

ペアリング削除: Space-d（1-4-5）.

機器接続解除: Space-u（1-3-6）.

コンボモード中のBRLとKBDモード切り替え：電源ボタン-F3

2級英語モードへの切り替え: Backspace-Enter-w（2-4-5-6）.

クリップボード入力モード: Backspace-Enter-c（1-2）.

コマンドヘルプ: Space-h（1-2-5）.

点字キーボードレイアウト変更（ローマ字とかな）：Backspace-Enter

日本語点字表示の補正：Backspace-Enter-Space

# 8　記号入力一覧表

記号の入力はキーボードレイアウトの設定によって異なります。Backspace-Enterを押すことで「かな」と「ローマ字（※点字ディスプレイではキーボードモードと表記）」を切り替える事ができます。

ローマ字モードでの入力

!: 2-3-4-6の点

": 5の点

#: 3-4-5-6の点

$: 1-2-4-6の点

%: 1-4-6の点

&: 1-2-3-4-6の点

': 3の点

(: 1-2-3-5-6の点

): 2-3-4-5-6の点

-: 3-6の点

=: 1-2-3-4-5-6の点

^: 4-5-7の点

~: 4-5の点

\(Backslash): 1-2-5-6-7の点

|: 1-2-5-6の点

@: 4-7の点

`: 4の点

[: 2-4-6-7の点

{: 2-4-6の点

]: 1-2-4-5-6-7の点

}: 1-2-4-5-6の点

;: 5-6の点

+: 3-4-6の点

:: 1-5-6の点

\*: 1-6の点

,: 6の点

<: 1-2-6の点

.: 4-6の点

>: 3-4-5の点

/: 3-4の点

?: 1-4-5-6の点

\_: 4-5-6の点

かなモードでの入力

!: 2-3-5の点

#: 5-6の点に続けて1-4-6の点

&: 5-6の点に続けて1-2-3-4-6の点

(: 5-6の点に続けて2-3-5-6の点

): 2-3-5-6の点に続けて2-3の点

ー: 2-5の点

=: 5-6の点に続けて1-2-3-4-5-6の点

「: 5-6の点に続けて3の点

」: 6の点に続けて2-3の点

:: 5の点に続けて2の点

;: 2-3の点

+: 5-6の点に続けて3-4-6の点

、: 5-6の点に続けてスペース

。: 2-5-6の点に続けてスペース

・: 5の点に続けてスペース